

SRV20-□用ビルダソフト  
(型式:SRV20BLD)  
取扱説明書

**SHIMADEN CO., LTD.**

## はじめに

このたびは、シマデンのペーパーレスレコーダ(型式:SRV20-02、SRV20-06、SRV20-12)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本取扱説明書は、SRV20-□用ビルダソフト(型式:SRV20BLD)の機能を十分に使用して頂くためのパソコン環境、ソフトの操作方法を記述しています。用語の詳細な説明は、SRV20の取扱説明書(詳細編)をご参照ください。

SRV20BLDはSRV20-□のパラメタを容易にかつスムーズに設定できます。また、Ethernetを利用した通信により、遠隔での設定変更が行えます。

## ご注意

・本取扱説明書は、SRV20BLDのバージョン:V1.00.□以降に対応しています。

## 目 次

1. ご使用になる前に.....	6
1.1. 機能概要.....	6
1.2. 必要システム.....	6
1.3. SRV20BLD のセットアップ.....	6
1.4. SRV20-□との接続.....	7
1.4.1. Ethernet による接続を行う場合.....	7
1.4.2. カードリーダーを使用する場合.....	8
1.5. SRV20BLD の起動方法と終了方法.....	9
2. メイン画面.....	10
2.1. ボタン操作.....	10
2.2. 入力注意事項.....	11
2.3. 色設定画面の操作.....	11
3. 基本情報.....	12
3.1. 入力チャンネル数を設定する.....	12
4. システム設定.....	13
4.1. 動作モードを設定する.....	13
4.2. 温度表現を設定する.....	13
4.3. スタートモードを設定する.....	14
4.4. データ形式を設定する.....	14
4.5. データファイル上書を設定する.....	14
4.6. スクリーンセーバーを設定する.....	14
4.7. IP アドレスを設定する.....	15
4.8. サブネットマスクを設定する.....	15
4.9. デフォルトゲートウェイを設定する.....	15
4.10. タッチパネルビープ音を設定する.....	15
5. 収録設定.....	16
5.1. 収録周期を設定する.....	16
5.2. 収録方法を設定する.....	16
5.3. 収録条件の設定.....	16
5.3.1. トリガ連動の収録条件を設定する.....	16
5.3.2. トリガ収録の収録条件を設定する.....	18
5.3.3. 時間指定収録の収録条件を設定する.....	19
6. 表示設定.....	21
6.1. チャートスピードを設定する.....	21
6.2. グラフ表示方向を設定する.....	21
6.3. デジタル値表示タイプを設定する.....	22
6.4. デジタル値の表示方法を設定する.....	22
6.5. データファイル使用容量を表示する.....	22
6.6. 画面表示点数を設定する.....	22
6.7. 画面表示点数(OV)を設定する.....	23
6.8. 1 ペン拡大表示の自動切替を有効にする.....	23
6.9. 背景のグラデーションタイプを設定する.....	23
7. 異常時出力設定.....	24
8. コメント設定.....	25
8.1. ダイレクトモードを有効にする.....	25
8.2. グループを設定する.....	25

8.3. コメント文を設定する	26
9. 入力ペン設定(個別)	28
9.1. 共通設定	29
9.1.1. ペンの有効/無効を設定する	29
9.1.2. タグ名を設定する	29
9.1.3. 工業単位を設定する	29
9.1.4. ペンの表示色を設定する	29
9.1.5. 線種を設定する	30
9.1.6. 小数点位置を設定する	30
9.2. 詳細設定(アナログ入力)	31
9.2.1. アナログタイプを設定する	31
9.2.2. 入力レンジを設定する	32
9.2.3. スケールを設定する	32
9.2.4. プロット範囲を設定する	32
9.2.5. バイアスを設定する	33
9.2.6. プロット方法を設定する	33
9.2.7. 開平を設定する	33
9.2.8. オーバービュー画面のバーグラフ表示色を設定する	33
9.2.9. 冷接点補償 SW を設定する	34
9.2.10. バーンアウトタイプを設定する	34
9.3. 詳細設定(デジタル入力)	34
9.3.1. デジタル表示名を設定する	34
10. 演算ペン設定(個別)	35
10.1. 共通設定	35
10.2. 詳細設定	36
10.2.1. 演算種別を設定する	36
10.2.2. 入力 1(X1)、入力 2(X2)を設定する	38
10.2.3. 係数 1(K1)、係数 2(K2)を設定する	38
10.2.4. 定数 1(A1)、定数 2(A2)、定数 3(A3)を設定する	38
10.2.5. 初期値を設定する	39
10.2.6. サンプリング数を設定する	39
10.2.7. 時定数を設定する	39
10.2.8. リセット条件を設定する(ピークホールド、アナログ積算)	39
10.2.9. リセット条件を設定する(F 値演算)	41
10.2.10. 積算単位を設定する	42
10.2.11. 基準温度(T0)を設定する	42
10.2.12. Z 値(Z)を設定する	42
10.2.13. 収録周期(ST)を設定する	42
10.2.14. プロット範囲、バイアス、プロット方法、OV グラフ表示色を設定する	42
10.2.15. オフ時表示名とオン時表示名を設定する	42
10.2.16. 風向表示の言語を設定する	42
11. アラーム設定(個別)	43
11.1. アナログアラームを設定する	43
11.1.1. リミット値を設定する	43
11.1.2. 正常域を設定する	43
11.1.3. 不感帯を設定する	43
11.1.4. リレーを設定する	44
11.1.5. アラーム出力を設定する	44
11.1.6. アラームメッセージ出力を設定する	44
11.1.7. 領域色を設定する	44
11.2. デジタルアラームを設定する	45
11.2.1. 出力を設定する	45
11.2.2. 遅延時間を設定する	45

11.2.3. 表示色を設定する.....	46
11.2.4. アラームメッセージ出力を設定する .....	46
11.2.5. アラームメッセージを設定する.....	46
11.2.6. 正常状態を設定する.....	46
12. 入力ペン設定(一括).....	47
13. 演算ペン設定(一括).....	48
14. アラーム設定(一括).....	49
15. 表示ペン選択.....	50
16. ハードウェアコンフィギュレーション.....	51
16.1. AD 変換タイプ.....	51
16.2. ラインノイズフィルタ.....	51
17. ファイル操作.....	52
17.1. ファイルの読み込み.....	52
17.2. ファイルの書出し.....	52
17.3. 設定ファイル CSV 出力.....	53
17.4. CF データファイル作成.....	54
18. オンライン操作.....	55
18.1. 読み込み.....	55
18.2. 書き出し(全て).....	56
18.3. 書き出し(実行時).....	56
18.4. リモートスタート.....	57
18.5. リモートストップ.....	57
19. 付録.....	58
19.1. CSV ファイル変換後の設定ファイルの構成.....	58
索引.....	61

# 1. ご使用になる前に

## 1.1. 機能概要

各種設定機能	データ収録、表示方法、入力チャンネル、演算等の設定が可能です。 SRV20BLD で設定した内容のダウンロードや、SRV20-□に設定されている内容のアップロードが可能です。また、設定内容をパソコンのハードディスク等に保存することができます。
リモート操作	SRV20-□の収録の開始、停止を操作できます。
データファイルの作成	CF カードに SRV20.SRD20、SRV20.SRC20、SRV20.SRA20 ファイルを生成します。
設定ファイル CSV 出力	SRV20BLD に設定されている内容を CSV ファイルで保存することが可能です。

## 1.2. 必要システム

パソコン本体	下記 OS が動作する PC
OS	Windows10 32/64 bit 版, Windows11 64bit 版 *1 【注】全ての環境での動作を保証するものではありません。
ディスプレイの解像度	1024×768 ドット以上
表示色	65536 色 (16 ビット High color) 以上
カードリーダー	CF カード使用時に 1 台必要
LAN	Windows がサポートする LAN カード 10BASE-T または 100BASE-TX 用のケーブル

## 1.3. SRV20BLD のセットアップ

SRV20BLD は、弊社ホームページよりダウンロードしてお使い頂けます。

### ■SRV20BLD のインストール

以下の手順で行ってください。

- ①SRV20BLD を弊社ホームページ (<https://www.shimaden.co.jp/>) よりダウンロードしてください。
- ②ダウンロードしたフォルダ内の SETUP プログラムを選択し、SRV20BLD のインストールを実行します。SETUP プログラムは、SRV20BLD フォルダ内にあります。フォルダ内の「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。\*2
- ③その後のインストールは、表示される画面の指示に従ってください。
- ④インストールが終了すると、プログラムメニューに「SRV20BLD」メニューが作成されます。

### ■SRV20BLD のアンインストール

再インストールする場合は、SRV20BLD をアンインストールしてから再インストールしてください。  
アンインストールは以下の手順で行ってください。

#### ・Windows 10 の場合

スタートメニューの「設定」→「アプリ」を開き、「アプリと機能」から行います。プログラム一覧から SRV20BLD を選択し、アンインストールボタンを押してください。表示される画面に従い、アンインストールしてください。

#### ・Windows 11 の場合

スタートメニューの「設定」→「アプリ」を開き、「インストールされているアプリ」から行います。一覧から SRV20BLD の「…」をクリックし、アンインストールボタンを押してください。表示される画面に従い、アンインストールしてください。

\*1 「管理者として実行」する必要があります。

\*2 インストール時に、「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか」のユーザアカウント制御ダイアログが出るので、「SETUP.EXE」の実行を許可する。

## 1.4. SRV20-□との接続

### 1.4.1. Ethernet による接続を行う場合

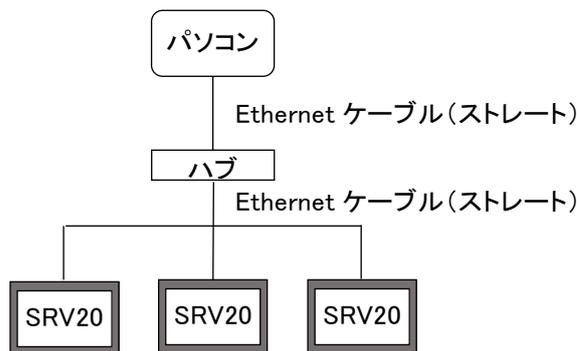
SRV20BLD をインストールしたパソコンと SRV20-□とを Ethernet を介して、通信を行うことができます。あらかじめ、SRV20-□の IP アドレスを設定しておいてください。(IP アドレスの設定方法→SRV20 の取扱説明書(詳細編)参照)

#### ■Ethernet 接続時のケーブルについて

SRV20BLD をインストールしたパソコンと SRV20-□を Ethernet 接続する場合、接続方法によって使用するケーブルが異なりますのでご注意ください。

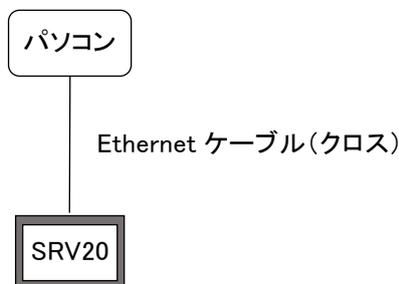
【パソコンと SRV20-□を、ハブを介して接続する場合】

パソコンとハブ、ハブと SRV20-□を接続するケーブルは、ストレートケーブルを使用してください。



【パソコンと SRV20-□を直接接続する場合】

パソコンと SRV20-□を接続するケーブルは、クロスケーブルを使用してください。



#### ■接続の確認

SRV20BLD と SRV20-□の接続時にコネクエラーが表示され、Ethernet 接続ができない場合、Windows のコマンドプロンプトから ping コマンドにて接続の確認を行ってください。

##### ●コネクエラーの内容

「ソケットコネクエラー！」

##### ●コマンドプロンプトの開始方法

・Windows10 の場合

スタートメニューの[Windows システムツール]－[コマンドプロンプト]を選択します。

・Windows11 の場合

[スタートメニュー]－「すべてのアプリ」から[Windows ツール]を選択します。

表示されたウインドウから[コマンドプロンプト]を選択してください。



## 1.5. SRV20BLD の起動方法と終了方法

### ■ 起動方法

スタートメニューの[プログラム]－[SRV20]で「SRV20BLD」を選択してください。SRV20BLD が起動され、下図画面が表示されます。



### ■ 終了方法

SRV20BLD を終了する場合は、<閉じる>ボタンをクリックするか、<❌>ボタンをクリックしてください。

## 2. メイン画面

スタートメニューの[プログラム]－[SRV20]で「SRV20BLD」を選択すると、下図画面が表示されます。

The screenshot shows the SRV20BLD V1.00.02 configuration window. It is divided into several sections:

- 基本情報 (Basic Information):** Includes fields for input channel number (12 ch), action mode (Auto), temperature unit (Celsius), alarm mode (Normal), data format (4-bit), data file upload (On), and scale (0 min).
- システム設定 (System Settings):** Includes IP address (192.168.0.1), gateway (255.255.255.0), and other network-related settings.
- 収録設定 (Recording Settings):** Includes recording period (900 seconds) and recording method (Display only).
- 表示設定 (Display Settings):** Includes chart speed (4), chart display direction (Vertical), chart value display (Tag name + value), chart display (Automatic), data file usage (Not display), number of points displayed (4 points), and auto refresh of chart display (None).
- ハードウェアコンフィギュレーション (Hardware Configuration):** Includes AD conversion rate (Normal) and LAN bus frequency (50/60Hz selection).
- 異常時出力設定 (Abnormal Output Settings):** Includes a setting for abnormal output (None).
- ファイル操作ボタン群 (File Operation Button Group):** A list of 15 buttons for file operations, including load, save, CSV export, and CF file creation.
- オンライン操作ボタン群 (Online Operation Button Group):** A list of 8 buttons for online operations, including save, save all, save (real-time), restart, and stop.

Callouts on the left side of the window point to these sections:

- 基本情報 → 3 items reference
- システム設定 → 4 items reference
- 収録設定 → 5 items reference
- 表示設定 → 6 items reference
- ハードウェアコンフィギュレーション → 16 items reference
- 異常時出力設定 → 7 items reference
- ファイル操作ボタン群 → 17 items reference
- オンライン操作ボタン群 → 18 items reference

### 注意

#### SRV20BLD 使用時の注意事項

SRV20用ビューソフト(型式:SRV20WV)でFTP変換を実行中に設定を変更しないでください。

### 2.1. ボタン操作

各画面に表示されるボタンの説明をします。

- ボタン : 1つ前の設定画面を表示します。
- ボタン : 1つ次の設定画面を表示します。
- ボタン : 1つ前の設定画面を表示します。
- ボタン : 1つ次の設定画面を表示します。
- ボタン : 演算ペン設定画面を表示します。
- ボタン : 入力ペン設定画面を表示します。
- ボタン : アラーム設定画面を表示します。
- ボタン : 設定内容を確定し、画面を閉じます。
- ボタン : 設定内容を確定せずに、画面を閉じます。

## 2.2. 入力注意事項

### ■文字入力での注意事項

「.」「,」「|」「スペース」「タブ」等、CSV形式で区切り記号となる記号は使用しないでください。  
また、「+」や「-」等の記号を使用すると、Excelで表示したときに数式扱いとなりますので、ご注意ください。

### ■数字入力での注意事項

基本的に文字(あ、a等)は入力できませんが、1e9のような入力を可能にするために「e」は入力できるようになっています。ただし、「1ee」のように「e」を2文字以上入力すると数値として認識できないのでご注意ください。

## 2.3. 色設定画面の操作

色に関する設定は、色の設定画面で行います。

①<変更>ボタンまたは<色編集>ボタンをクリックすると、色の設定画面が表示されます。



②色選択ボックスより任意の色をクリック選択し、<OK>ボタンをクリックすると色が変更されます。



## 3. 基本情報

### 3.1. 入力チャンネル数を設定する

SRV20-□の入力チャンネル数を選択します。  
[入力チャンネル数]より、対応するチャンネル数を選択してください。



ご使用の SRV20-□の型式	入力チャンネル数
SRV20-02	2ch
SRV20-06	6ch
SRV20-12	12ch

## 4. システム設定

システム設定		
動作モード	デモ	4.1 項
温度単位	摂氏	4.2 項
スタートモード	通常	4.3 項
データ形式	4 バイト実数	4.4 項
データファイル上書	オン	4.5 項
スクリーンセーバー	0 分	4.6 項
IPアドレス	192 . 168 . 0 . 1	4.7 項
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	4.8 項
デフォルトGW		4.9 項
タッチパネルビープ音	オン	4.10 項

### 注意

#### リンガータイムの設定

リンガータイムは、本体でのみ設定できます。SRV20BLD では設定できません。

### 4.1. 動作モードを設定する

[動作モード]より、任意の動作モードを選択してください。

動作モード	デモ
-------	----

デモ	実入力を使用しないで操作の習得、操作性の評価、デモ用等として使用する場合
通常	データ収録を行う場合

### 4.2. 温度表現を設定する

温度データに対する温度単位と同じ単位を設定します。

[温度単位]より、任意の温度単位を選択してください。

温度単位	摂氏
------	----

摂氏	温度データの単位を「摂氏(°C)」で表現する場合
華氏	温度データの単位を「華氏(°F)」で表現する場合

### 4.3. スタートモードを設定する

電源投入後のスタート方法を設定します。  
[スタートモード]より、任意のスタートモードを選択してください。



通常	電源投入後に自動でデータ収録を開始しない場合
自動開始	電源投入後に自動でデータ収録を開始する場合

### 4.4. データ形式を設定する

CFカードに保存するデータの形式を設定します。  
[データ形式]より、任意のデータ形式を選択してください。



項目	4バイト実数	2バイト整数
1 データサイズ	4バイト	2バイト
CFカードへの記録時間	2バイト整数で保存すると、保存時間は4バイト実数の約2倍	
小数点以下の記録桁数	小数点以下4桁まで(有効桁数6~7桁)	小数点以下1桁まで

### 4.5. データファイル上書を設定する

データファイルが収録データでいっぱいになったときに、古いデータから上書きすることが可能です。  
CFカード内のデータファイルがいっぱいになったときの収録方法について設定します。  
[データファイル上書]より、任意の収録方法を選択してください。



オフ	CFカード内のデータファイルがいっぱいになると、データ収録を停止します。
オン	CFカード内のデータファイルがいっぱいになると、古いデータから上書きします。

### 4.6. スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーを設定します。  
スクリーンセーバーを実行する時間を1~99(分)で入力してください。  
スクリーンセーバーを使用しない場合は、「0」を入力してください。



## 4.7. IP アドレスを設定する

SRV20BLD と SRV20-□ を Ethernet 接続する場合に、SRV20-□ で設定した IP アドレスを入力します。  
工場出荷時は、「192.168.0.1」に設定されています。

IPアドレス	192 . 168 . 0 . 1
--------	-------------------

## 4.8. サブネットマスクを設定する

SRV20-□ で設定しているサブネットマスクを表示します。  
SRV20BLD では表示のみで、変更できません。

## 4.9. デフォルトゲートウェイを設定する

SRV20-□ で設定しているデフォルトゲートウェイを表示します。  
SRV20BLD では表示のみで、変更できません。

## 4.10. タッチパネルビープ音を設定する

画面をタッチしたときのビープ音のオン・オフを設定します。  
[タッチパネルビープ音]より、任意の設定を選択してください。

タッチパネルビープ音	オン
------------	----

オフ	ビープ音を消す場合
オン	ビープ音を出す場合

## 5. 収録設定



### 5.1. 収録周期を設定する

[収録周期]より任意の収録周期(「100 ミリ秒」、「500 ミリ秒」、「1 秒」、「2 秒」、「5 秒」、「10 秒」、「1 分」、「10 分」)を選択してください。

収録周期 100 ミリ秒に対応しているのは、電圧入力のみです。温度を測定する場合は 500 ミリ秒以上に設定してください。



### 5.2. 収録方法を設定する

CF カードにデータを保存する方法を設定します。

[収録方法]より、任意の収録方法を選択してください。

「トリガ連動」、「トリガ収録」、「時間指定収録」に設定した場合は、収録条件を設定します。(→5.3 項参照)

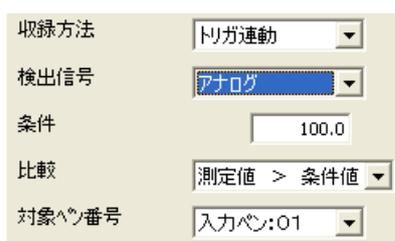


表示のみ	データの収録は行わず、画面の表示のみを行います。
連続収録	メニュー一覧の<開始>ボタンによりデータ収録を開始し、<停止>ボタンによりデータ収録を停止します。
トリガ連動	トリガとする信号が、設定した条件を成立している間、データの収録を行います。
トリガ収録	トリガが発生したときに、トリガの発生前と発生後のデータを設定したサンプリング数のみ保存します。
時間指定収録	指定した日時にデータ収録を行います。

### 5.3. 収録条件の設定

収録方法に「トリガ連動」、「トリガ収録」、「時間指定収録」に設定した場合は、収録条件の詳細を設定します。

#### 5.3.1. トリガ連動の収録条件を設定する



検出信号が「アナログ」のとき



検出信号が「デジタル」のとき

### ■ 検出信号を設定する

[検出信号]より、任意の検出信号を選択してください。

検出信号

アナログ	アナログ信号をトリガ信号に設定します。
デジタル	接点入力をトリガ信号に設定します。

### ■ 収録条件を設定する

【検出信号にアナログを選択した場合】

検出信号にアナログを選択した場合は、[条件]と[比較]を設定します。

#### ・条件

検出の条件とする値を実量値で入力してください。

条件

#### ・比較条件

[比較]より、任意の条件を選択してください。

比較

測定値 > 条件値	測定値が条件値を上回っている間、データを収録します。 測定値が条件以下になるとデータ収録を停止します。
測定値 < 条件値	測定値が条件値を下回っている間、データを収録します。 測定値が条件以上になるとデータ収録を停止します。
測定値 ≥ 条件値	測定値が条件値以上の間、データを収録します。 測定値が条件を下回るとデータ収録を停止します。
測定値 ≤ 条件値	測定値が条件値以下の間、データを収録します。 測定値が条件を上回るとデータ収録を停止します。

【検出信号にデジタルを選択した場合】

[比較]より、任意の条件を選択してください。

比較

オフ時	接点入力の状態がオフの間、データ収録を行います。信号がオンになると、データ収録を停止します。
オン時	接点入力の状態がオンの間、データ収録を行います。信号がオフになると、データ収録を停止します。

### ■ 対象ペン番号を設定する(アナログのみ)

トリガ条件とする信号のペン番号を設定します。

[対象ペン番号]に、有効になっているペンのタグ名が表示されますので、設定するタグ名を選択します。

対象ペン番号

## 5.3.2. トリガ収録の収録条件を設定する

収録方法	トリガ収録
検出信号	アナログ
条件	100.0
比較	測定値 > 条件値
対象ペン番号	入力ペン:01
プレトリガ	1200
ポストトリガ	1200

検出信号がアナログの場合

収録方法	トリガ収録
検出信号	デジタル
比較	立上り
プレトリガ	1200
ポストトリガ	1200

検出信号がデジタルの場合

## ■ 検出信号を設定する

[検出信号]より、任意の検出信号を選択してください。

検出信号	アナログ
------	------

アナログ	アナログ信号をトリガ信号に設定します。
デジタル	接点入力をトリガ信号に設定します。

## ■ 収録条件を設定する

【検出信号にアナログを選択した場合】

検出信号にアナログを選択した場合は、[条件]と[比較]を設定します。

## ・条件

検出の条件とする値を実量値で入力してください。

条件	100.0
----	-------

## ・比較条件

[比較]より、任意の条件を選択してください。

比較	測定値 > 条件値
----	-----------

測定値 > 条件値	測定値が条件値を上回ったとき、データを収録します。 指定したサンプリング数のデータを収録すると、停止します。
測定値 < 条件値	測定値が条件値を下回ったとき、データを収録します。 指定したサンプリング数のデータを収録すると、停止します。
測定値 ≥ 条件値	測定値が条件値以上になったとき、データを収録します。 指定したサンプリング数のデータを収録すると、停止します。
測定値 ≤ 条件値	測定値が条件値以下になったとき、データを収録します。 指定したサンプリング数のデータを収録すると、停止します。

【検出信号にデジタルを選択した場合】

[比較]より、任意の条件を選択してください。

比較	立上り
----	-----

立上り	接点入力がおフ→オン(立上り)を捉えて、データの収録を開始します。
立下り	接点入力がおン→オフ(立下り)を捉えて、データの収録を開始します。

### ■対象ペン番号を設定する(アナログのみ)

トリガ条件とする信号のペン番号を設定します。

[対象ペン番号]に、有効になっているペンのタグ名が表示されますので、設定するタグ名を選択します。

### ■プレトリガ、ポストトリガを設定する

トリガの発生により収録するデータのサンプリング数を設定します。

サンプリング数は、最大 1200 サンプルまで設定可能です。

プレトリガ	トリガ発生前のデータのサンプリング数を設定します。
ポストトリガ	トリガ発生後のデータのサンプリング数を設定します。

## 5.3.3. 時間指定収録の収録条件を設定する

方法が1回の場合

方法が毎日の場合

### ■方法を設定する

[方法]より、「1回のみ」または「毎日」を選択してください。

### ■指定日を設定する

方法で「1回のみ」を選択した場合、データの収録を開始する日を設定します。

[指定日]の年、月、日それぞれをクリック選択し、収録開始日を直接入力します。

また、指定日の<▼>ボタンをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーの任意の日付をクリックすると開始日を指定することができます。

・年を変更する

年が表示されている部分をクリックすると、 ボタンが表示されますので、設定する年を指定してください。



・月を変更する

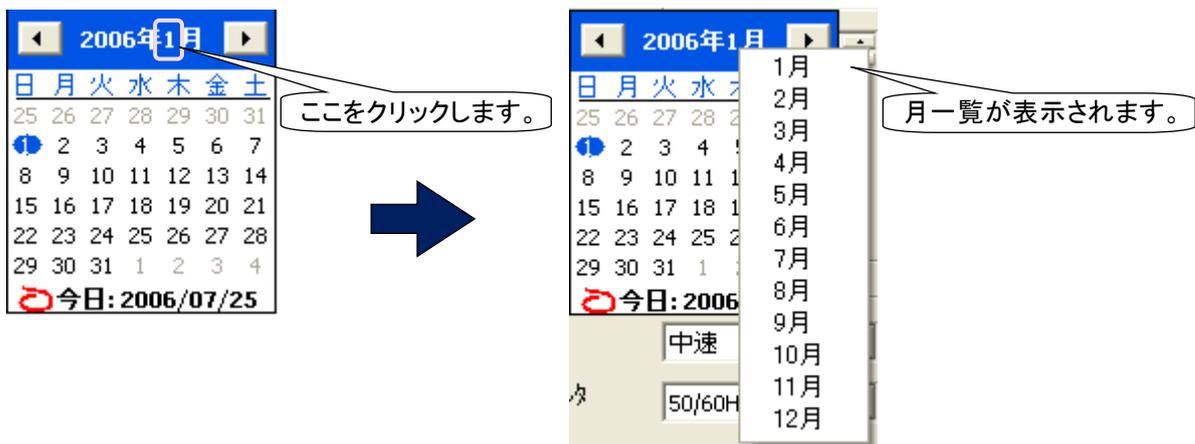
【方法 1】

 ボタン: 前の月のカレンダーを表示します。

 ボタン: 次の月のカレンダーを表示します。

【方法 2】

月が表示されている部分をクリックすると、月一覧が表示されますので、設定する月を選択してください。



■ 指定時間を設定する

データ収録を開始する時間を設定します。

指定時間の表示は、左から時・分・秒となっています。設定する時間をクリックして数字を直接入力するか、 ボタンで操作してください。



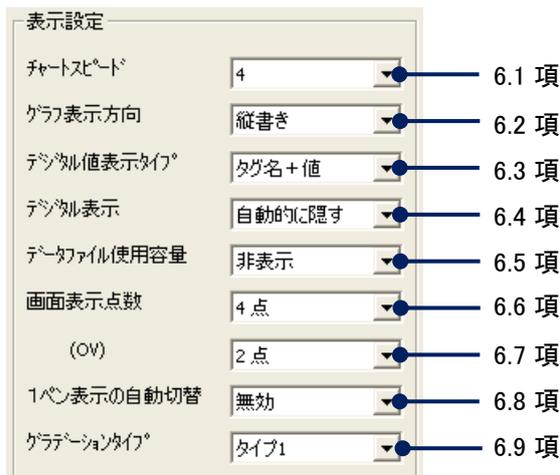
■ 収録時間、収録分を設定する

データの収録期間を指定します。

収録時間は、0～23 の範囲で設定してください。収録分は、0～59 の範囲で入力してください。



## 6. 表示設定



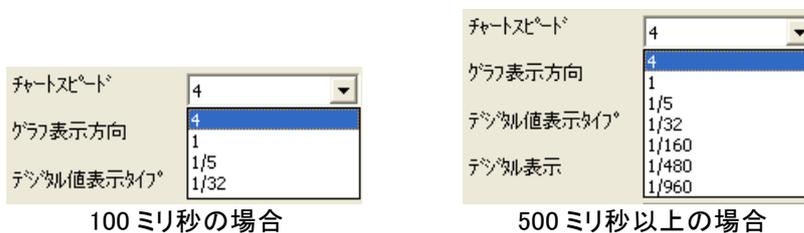
### 6.1. チャートスピードを設定する

トレンド画面でのチャートスピード設定をします。

チャートスピードには、「4」、「1」、「1/5」、「1/32」、「1/160」、「1/480」、「1/960」があり、これは、1 サンプルデータを表示するために移動するドット数で表しています。

選択できるチャートスピードは収録周期に依存します。チャートスピードと収録周期の関係は下表【チャートスピードと収録周期】をご覧ください。

[チャートスピード]より、任意のチャートスピードを選択してください。



#### 【チャートスピードと収録周期】

	4	1	1/5	1/32	1/160	1/480	1/960
100 ミリ秒	○	○	○	○	×	×	×
500 ミリ秒以上	○	○	○	○	○	○	○

### 6.2. グラフ表示方向を設定する

トレンド画面、バーグラフ画面の表示方向を設定します。

[グラフ表示方向]より、任意の方向を選択してください。



縦書き	トレンド画面、バーグラフ画面を縦書きに表示します。
横書き	トレンド画面、バーグラフ画面を横書きに表示します。

### 6.3. デジタル値表示タイプを設定する

トレンド画面、バーグラフ画面の画面下部に表示されるデジタル値の表示タイプを設定します。  
[デジタル値表示タイプ]より、任意の表示タイプを選択してください。



タグ名+値	画面に描画しているデータの瞬時値をタグ名とデジタル値(値と工業単位)で表示します。
タグ名のみ	画面に描画しているデータのタグ名のみを表示します。
値のみ	画面に描画しているデータの瞬時値をデジタル値(値と工業単位)のみで表示します。

### 6.4. デジタル値の表示方法を設定する

トレンド画面でのデジタル値の表示方法を設定します。  
[デジタル表示]より、任意の表示方法を選択します。



自動的に隠す	表示を開始してから 30 秒間、画面操作がなければ、自動的にデジタル値表示を隠します。
常時表示	デジタル値を常に表示します。

### 6.5. データファイル使用容量を表示する

トレンド画面、バーグラフ画面、オーバービュー画面にデータファイルの使用率を表示する設定です。  
データファイルの使用率を表示する場合には「表示」を選択してください。



非表示	データファイルの使用率を表示しません。
表示	データファイルの使用率を表示します。

### 6.6. 画面表示点数を設定する

トレンド画面、バーグラフ画面で、1画面に表示する点数を設定します。  
[画面表示点数]より、任意の表示点数を選択してください。



2点	1画面の表示点数が2点になります。
4点	1画面の表示点数が4点になります。
6点	1画面の表示点数が6点になります。
8点	1画面の表示点数が8点になります。

## 6.7. 画面表示点数(OV)を設定する

オーバービュー画面で、1画面に表示する点数を設定します。  
[画面表示点数(OV)]より、任意の表示点数を選択してください。



2点	1画面の表示点数が2点になります。
4点	1画面の表示点数が4点になります。
6点	1画面の表示点数が6点になります。
8点	1画面の表示点数が8点になります。
16点	1画面の表示点数が16点になります。

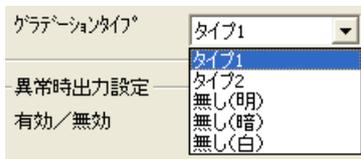
## 6.8. 1ペン拡大表示の自動切替を有効にする

トレンド画面、バーグラフ画面の1ペン拡大表示の自動切替の有効/無効を設定します。  
「有効」に設定した場合、1ペン拡大表示が5秒ずつ次のペン表示へ自動的に切替わります。



## 6.9. 背景のグラデーションタイプを設定する

トレンド画面、バーグラフ画面、過去データ画面、アラーム履歴画面、コメント履歴画面の背景のグラデーションを設定します。  
[グラデーションタイプ]より、任意の背景を選択してください。



## 7. 異常時出力設定

異常時出力設定を「有効」にすると、内部バスに異常が発生した場合に、警報出力用端子へ警報を出力します。

### ■有効／無効を設定する

①[有効／無効]より、「有効」を選択します。



異常時出力設定  
有効／無効

無効  
無効  
有効

②「有効」を選択すると、[異常時出力信号]が表示されます。



異常時出力設定  
有効／無効

有効

異常時出力信号

オフ

### ■異常時出力信号を設定する

警報出力用端子にオフの信号を出力する場合は「オフ」を、オンの信号を出力する場合は「オン」を選択してください。



異常時出力設定  
有効／無効

有効

異常時出力信号

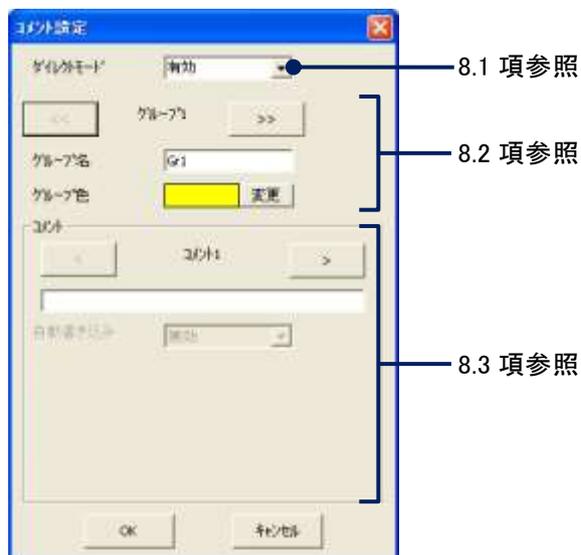
オフ  
オン

## 8. コメント設定

コメント設定では、トレンド画面に書き込むコメントをあらかじめ設定しておくことができます。

コメントは、1グループに8個まで設定でき、最大7グループ56個のコメントを設定できます。また、7グループ目はフリー入力（書き込むときにコメントを設定する）としても使用できるグループです。収録中にコメントを変更することが可能です。

[設定操作ボタン群]から<コメント設定>ボタンをクリックすると、下図画面が表示されます。（ボタン操作→2.1項参照）



### 8.1. ダイレクトモードを有効にする

ダイレクトモードを「有効」に設定しておくことで、収録中にコメントを入力し、直接トレンド画面に書き込むことができます。あらかじめコメント文を設定する必要がなく、必要な時だけに書き込むことができます。

入力したコメントは、グループ7（フリー入力）に保存されます。

このモードを「有効」に設定した場合、グループ1～グループ6に設定したコメントは使用できません。

ダイレクトモードを使用しない場合は、「無効」に設定してください。

### 8.2. グループを設定する

目的別にコメントをグループ分けし、それに名前や色を設定してコメントを使いやすくします。

グループ1～7の切替えは、<<< ボタンまたは >>> ボタンで行います。

#### ■グループ名

各グループの名称を入力してください。

設定範囲：半角、全角にかかわらず10文字以内

#### ■グループ色

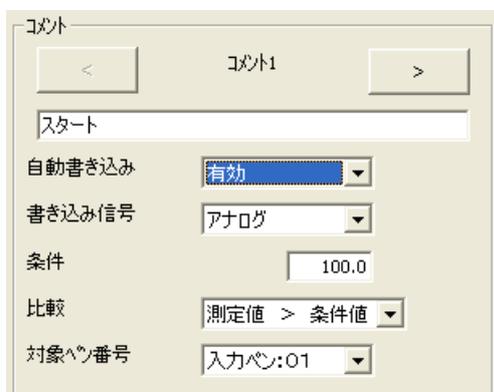
トレンド画面に書き込むコメントの色を設定します。

<変更>ボタンをクリックすると、色の設定画面が表示されます。色選択ボックスより任意の色をクリック選択し、

<OK>ボタンをクリックするとグループ色を変更されます。（色設定画面の操作→2.3項参照）

### 8.3. コメント文を設定する

トレンド画面に書き込むコメントや、コメント自動書き込みを設定します。  
コメント 1～8 の切替えは、 ボタンまたは  ボタンで行います。



#### ■コメント文を設定する

トレンド画面に書き込むコメント文を入力してください。  
設定範囲: 半角、全角にかかわらず 30 文字以内



#### ■コメント自動書き込みを設定する

コメントは、あらかじめ設定しておいた条件が成立した時に、自動的にトレンド画面に書き込むことができます。  
自動書き込みを行う場合は、[自動書き込み]を「有効」に、行わない場合は「無効」に設定してください。  
「有効」に設定した場合は、以下の設定を行ってください。

#### ■書き込み信号を設定する

[書き込み信号]より、コメントの自動書き込みを行う信号の種類を選択してください。

アナログ	アナログ信号を使用する場合
デジタル	デジタル信号を使用する場合

#### ■条件を設定する

書き込み信号に「アナログ」を選択した場合は、条件を設定します。  
書き込みの条件とする値を実量値で入力してください。  
設定範囲: 小数点、符号を含む 6 桁以内の数値 (数字入力での注意事項→2.2 項参照)

#### ■比較を設定する

[比較]より、任意の条件を選択してください。  
【書き込み信号にアナログを選択した場合】  
比較条件には次の 4 つがあります。これらの条件から選択してください。

測定値 > 条件値	測定値が条件値を上回ったとき、コメントを書き込みます。
測定値 < 条件値	測定値が条件値を下回ったとき、コメントを書き込みます。
測定値 ≥ 条件値	測定値が条件値以上になったとき、コメントを書き込みます。
測定値 ≤ 条件値	測定値が条件値以下になったとき、コメントを書き込みます。

**【書き込み信号にデジタルを選択した場合】**

比較条件には次の2つがあります。これらの条件から選択してください。

立上り	接点入力がオフ→オン(立上り)を捉えて、コメントを書き込みます。
立下り	接点入力がオン→オフ(立下り)を捉えて、コメントを書き込みます。

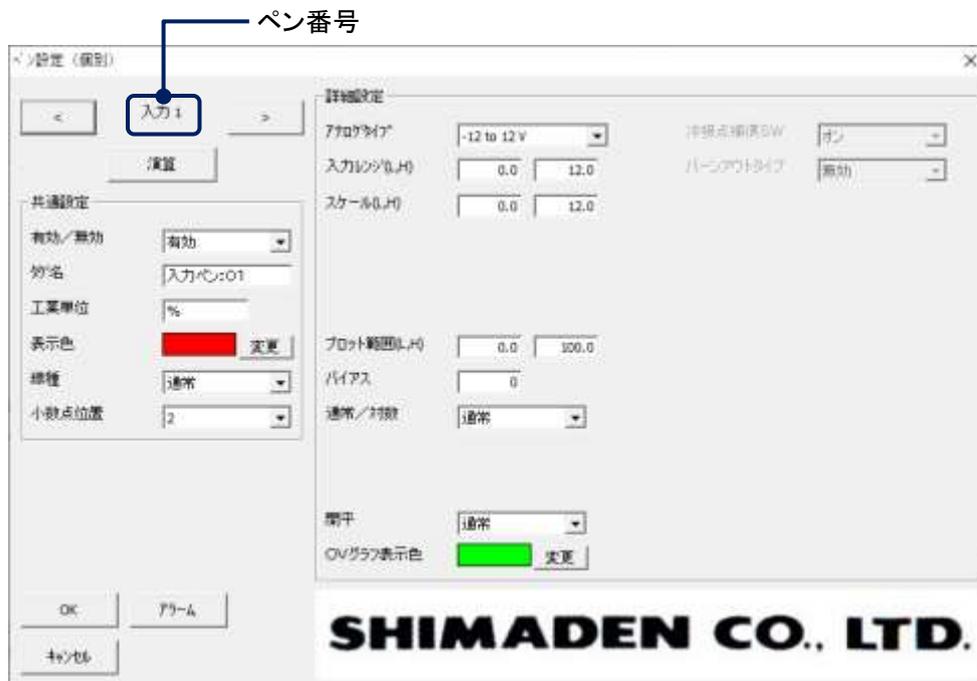
**■対象ペン番号を設定する**

書き込み信号とする信号を設定しているペンを選択します。

[対象ペン番号]より、任意の番号を選択してください。

## 9. 入力ペン設定(個別)

[設定操作ボタン群]から<入力ペン設定(個別)>ボタンをクリックすると、下図画面が表示されます。  
ペン設定画面の切替えは、< > ボタンまたは < > ボタンで行います。(ボタン操作→2.1 項参照)



上図は SRV20-02 の設定画面で、ペン番号「入力 1～入力 2」はアナログ入力のチャンネル番号を示します。  
また、ペン番号「入力 3」は、トリガ入力端子の設定になります。トリガ入力端子への入力をデジタル入力(接点入力)として使用する場合に設定してください。  
SRV20-06、SRV20-12 のペン番号と入力の関係は下表を参照ください。

ペン番号	SRV20-02	SRV20-06	SRV20-12
入力 1	アナログ入力	アナログ入力	アナログ入力
入力 2	チャンネル 1～2	チャンネル 1～6	チャンネル 1～12
入力 3	トリガ入力		
入力 4			
入力 5			
入力 6			
入力 7		トリガ入力	
入力 8			
入力 9			
入力 10			
入力 11			
入力 12			
入力 13			トリガ入力

## 9.1. 共通設定

### 9.1.1. ペンの有効／無効を設定する

使用するペンの有効／無効を設定します。  
「有効」に設定されたペンに割り付けたデータが CF カードに保存されます。  
[有効／無効]より、「有効」または「無効」を選択してください。



### 9.1.2. タグ名を設定する

記録するデータに対してタグ名を設定します。  
[タグ名]に、任意の名前を入力してください。  
設定範囲: 全角・半角にかかわらず 8 文字以内



### 9.1.3. 工業単位を設定する

記録するデータに対して工業単位を設定します。  
[工業単位]に、任意の単位を入力してください。  
設定範囲: 全角・半角にかかわらず 4 文字以内



## MEMO

### 扱える特殊記号について

工業単位として次の特殊記号が使用できます。これらの記号は 1 文字扱いされます。  
これらの特殊記号以外は使用できません。

日本語入力画面から単位の名称(cm なら「せんちめーとる」)を入力し、変換してください。

- ・mm(ミリメートル)
- ・cm(センチメートル)
- ・km(キロメートル)
- ・mg(ミリグラム)
- ・kg(キログラム)
- ・cc(シーシー)
- ・m<sup>2</sup>(平方メートル)
- ・①～⑳

### 9.1.4. ペンの表示色を設定する

ペンの表示色を設定します。  
[表示色]の<変更>ボタンをクリックすると、色の設定画面が表示されます。色選択ボックスより任意の色をクリック選択し、<OK>ボタンをクリックすると表示色が変更されます。(色設定画面の操作→2.3 項参照)



### 9.1.5. 線種を設定する

トレンド画面に表示する線の種類を設定します。  
[線種]より、任意の線種を選択してください。



通常	通常の太さ(1ドット)で表示します。
太線	太線(3ドット)で設定します。

### 9.1.6. 小数点位置を設定する

表示データの小数点以下の桁数を設定します。  
[小数点位置]より、任意の桁数を選択してください。  
アナログタイプに熱電対や測温抵抗体を選択すると、「0」か「1」のみの選択となります。



0	デジタル値を整数値で表示します。
1	デジタル値の小数点以下を1桁表示します。
2	デジタル値の小数点以下を2桁表示します。
3	デジタル値の小数点以下を3桁表示します。

#### MEMO

##### 実量目盛表示で小数点以下を表示する

プロット範囲で設定した内容を、トレンド画面・バーグラフ画面の目盛表示に反映させることができます(実量目盛表示)。

例えば、プロット範囲下限値に0、上限値に1000を設定すると、目盛表示部に0~1000を10分割した値(0、100、200...900、1000)で表示します。小数点以下の表示は、小数点位置の設定に依存します。例えば、小数点位置の設定を「2」に設定したとすると、実量目盛で表示される小数点以下は2桁となります。

ただし、横書きに設定している場合は、小数点以下1桁までしか設定できません。

## 9.2. 詳細設定(アナログ入力)

詳細設定では、表示用の設定を行います。

詳細設定

アナログタイプ       冷接点補償SW

入力レンジ(L,H)        パーンアウトタイプ

スケール(L,H)

プロット範囲(L,H)

バイアス

通常/対数

開平

OVグラフ表示色

### 9.2.1. アナログタイプを設定する

ペンに割り当てたチャンネルに対して、アナログタイプを設定します。

[アナログタイプ]より、任意のアナログタイプを選択してください。

収録周期が 100 ミリ秒に設定している場合、電圧入力のみになります。

各入力カードとアナログタイプの関係は、下表【アナログタイプ一覧】をご覧ください。

アナログタイプ

【アナログタイプ一覧】

種類	アナログタイプ	入力レンジ	測定範囲
直流電圧	-12 to 12V	±12V	—
	-6 to 6V	±6V	
	-3 to 3V	±3V	
	-1000 to 1000mV	±1000mV	
	-500 to 500mV	±500mV	
	-250 to 250mV	±250mV	
	-125 to 125mV	±125mV	
	-60 to 60mV	±60mV	
熱電対	(PR)	測定範囲と同じ	0 ~ 1770°C
	K(CA)		-270 ~ +1370°C
	E(CAC)		-270 ~ +1000°C
	J(IC)		-210 ~ +1200°C
	T(CC)		-270 ~ +400°C
	B(RH)		100 ~ 1820°C
	R		-50 ~ +1760°C
	S		-50 ~ +1760°C
	C(WRe 5-26)		0 ~ 2320°C
	N		-270 ~ +1300°C
	U		-200 ~ +600°C
	L		-200 ~ +900°C
	P(Plantinel II)		0 ~ 1395°C

種類	アナログタイプ	入力レンジ	測定範囲
測温抵抗体	Pt100(JIS' 89) ※1	測定範囲と同じ	-200 ~ +660°C
	Pt100(JIS' 97) ※2		-200 ~ +850°C
	Pt 200		-200 ~ +850°C
	Pt 300		-200 ~ +850°C
	Pt 400		-200 ~ +850°C
	Pt 500		-200 ~ +850°C
	Pt 1000		-200 ~ +850°C
	Pt 50 Ω(JIS' 81)		-200 ~ +649°C
	JPt 100(JIS' 89) ※3		-200 ~ +510°C
	Ni 100		-80 ~ +260°C
	Ni 120		-80 ~ +260°C
	Ni 508.4 Ω		-50 ~ +280°C
	Ni-Fe 604		-200 ~ +200°C
	Cu10(25°C)		-50 ~ +250°C

※1: R100=1.3850 Ω

※2: R100=1.3851 Ω

※3: R100=1.3916 Ω

## 9.2.2. 入力レンジを設定する

測定範囲の下限・上限の範囲内で、入力レンジを設定します。ここで、設定した下限値が入力の 0%に、上限値が 100%に対応します。

熱電対、測温抵抗体のタイプを選択した場合、入力レンジは測定範囲に変わり、値は固定となります。

設定範囲: 小数点、符号を含む 6 桁以内の数値(数字入力での注意事項→2.2 項参照)

入力レンジ(L,H)

## 9.2.3. スケールを設定する

入力レンジに対応した実量値の下限値・上限値を設定します。これによって、運転時に記録計画面に瞬時値が実量値(工業単位)で表示されます。

熱電対、測温抵抗体のタイプを選択した場合、スケールの設定は必要ありません。

設定範囲: 小数点、符号を含む 6 桁以内の数値(数字入力での注意事項→2.2 項参照)

スケール(L,H)

## 9.2.4. プロット範囲を設定する

ペンのプロット方法を「通常」に設定した場合、プロット範囲の設定を行います。「対数1」または「対数2」に設定した場合は、対数プロット範囲を設定します。プロット方法および対数プロット範囲の設定は 9.2.6 項を参照ください。プロット範囲は、入力信号のスケールで設定した範囲内で、描画する範囲の下限値と上限値を設定します。通常は、スケールの下限値と上限値をそのまま入力します。

設定範囲: 小数点、符号を含む 6 桁以内の数値(数字入力での注意事項→2.2 項参照)

プロット範囲(L,H)

### 特定の部分を拡大して表示する

特に信号のある範囲をチャート面に拡大して描画したい場合は、描画したい範囲をプロット範囲として設定します。

### 9.2.5. バイアスを設定する

プロット範囲の0%の位置を設定します。これにより、同じような値を示すデータをずらして表示することが可能です。  
設定範囲:-100~100



バイアス

### 9.2.6. プロット方法を設定する

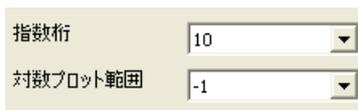
プロット方法に対数を設定できます。対数は、プロットエリアを指定した数に分割し、10の指数桁でプロットします。プロットエリアを等分した形で入力データをプロットする場合は、「通常」を選択します。



通常/対数

- 通常
- 対数1
- 対数2

「対数」を選択した場合は、以下の設定を行ってください。



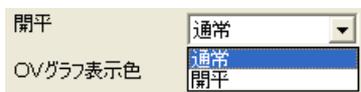
指数桁

対数プロット範囲

- ・指数桁  
指数桁とは、プロットエリアを分割する数です。「10」、「5」、「4」、「2」、「1」から選択してください。
- ・対数プロット範囲  
対数プロット範囲では、指数の最小値を設定します。  
設定範囲:-9~8

### 9.2.7. 開平を設定する

開平演算を行うチャンネルのデータに対して、開平演算を設定します。  
開平を行う場合は、「開平」を選択してください。



開平

OVグラフ表示色

- 通常
- 開平

### 9.2.8. オーバービュー画面のバーグラフ表示色を設定する

オーバービュー画面に表示されるアナログデータのバーグラフ表示色を設定します。  
<変更>ボタンをクリックすると、色の設定画面が表示されます。色選択ボックスより任意の色をクリック選択し、<OK>ボタンをクリックするとOVグラフ表示色が変更されます。(色設定画面の操作→2.3項参照)



OVグラフ表示色

変更

### 9.2.9. 冷接点補償 SW を設定する

熱電対入力を使用している場合に設定します。  
[冷接点補償 SW]より、任意の冷接点補償 SW を選択してください。

冷接点補償SW オン

オン	冷接点補償 SW を使用する場合。
オフ	冷接点補償 SW を使用しない場合。

### 9.2.10. バーンアウトタイプを設定する

バーンアウトの「無効」、「上方」、「下方」の設定を行います。  
[バーンアウトタイプ]より、任意のバーンアウトタイプを選択してください。  
測温抵抗体の場合、設定に対して測定値が過渡的に設定と逆の方向に振れることがあります。  
直流電圧入力では、バーンアウト設定は無視され、検出電流はオフとなります。

バーンアウトタイプ 無効

無効	センサおよび配線の抵抗と検出電流による測定誤差を最小化したい場合。
上方	バーンアウトしたときに、測定値が上方方向に振り切れます。
下方	バーンアウトしたときに、測定値が下方方向に振り切れます。

## 9.3. 詳細設定(デジタル入力)

トリガ入力端子からの入力を、デジタル入力(接点入力)として収録することが可能です。  
トリガ入力端子を設定する場合、デジタル表示名の設定を行ってください。  
トリガ入力端子の設定になるペン番号は、SRV20-□の型式によって違います。(→9 項参照)

### 9.3.1. デジタル表示名を設定する

接点入力がオフ(オン)の状態の表示名を設定します。  
設定範囲:全角・半角英数 5 文字以内

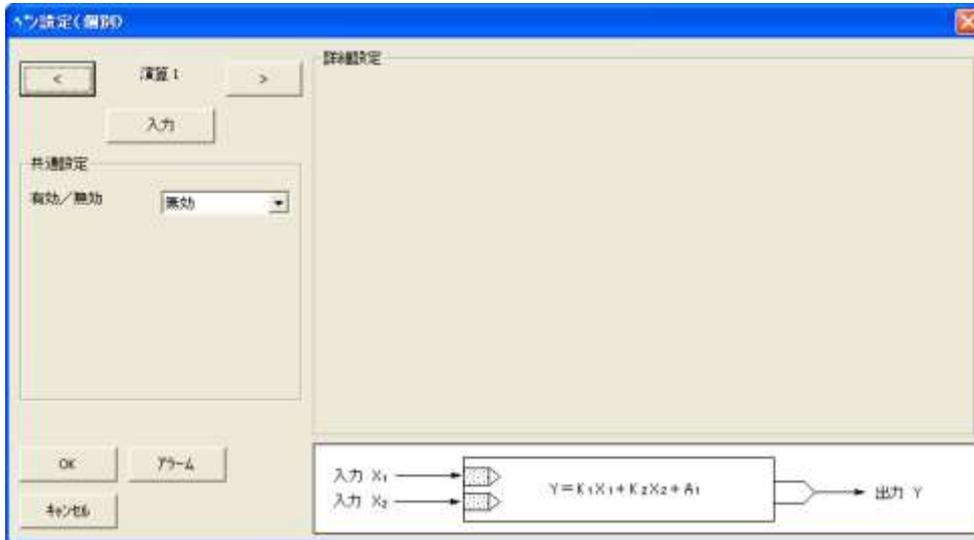
詳細設定

オフ時表示名 OFF

オン時表示名 ON

## 10. 演算ペン設定(個別)

[設定操作ボタン群]から<演算ペン設定(個別)>ボタンをクリックすると、下図画面が表示されます。(ボタン操作→2.1項参照)



### 10.1. 共通設定

演算を設定するペンを有効に設定します。

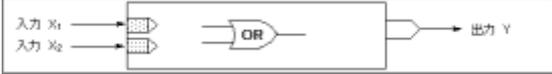
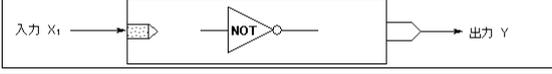
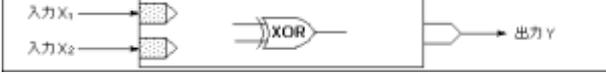
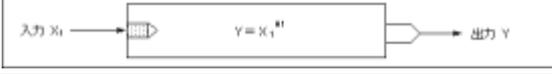
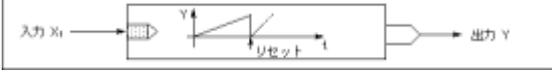
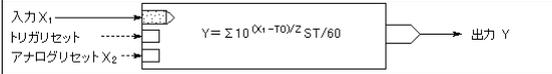
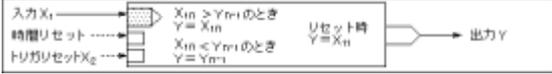
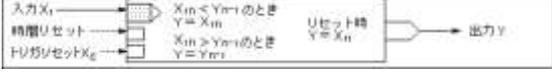
[有効/無効]より、「有効」を選択してください。

「有効」に設定すると、下図画面が表示されます。

(タグ名、工業単位、表示色、線種、小数点位置の設定→9.1項参照)





演算の種類		説明・ブロック図
論理演算	論理和	2つのデジタルデータの論理和(OR)を求めます。 
	論理積	2つのデジタルデータの論理積(AND)を求めます。 
	否定	1つのデジタルデータの否定(NOT)を求めます。 
	排他的論理和	2つのデジタルデータの排他的論理和(XOR)を求めます。 
関数	開平	入力値に対し、開平演算を行います。 
	累乗	入力値の累乗(X^n)を求めます。 
積算	アナログ積算	入力値の積算値を求めます。 
	F 値演算	殺菌、滅菌工程などで一定数の微生物を一定時間加熱したときの死滅値を求めます。 
ピークホールド	ピークホールド(最大)	保持している値を比較し、入力値が大きければその値を保持します。 
	ピークホールド(最小)	保持している値を比較し、入力値が小さければその値を保持します。 
フィルタ	移動平均	入力値に対し、移動平均を行います。 
	一次遅れ	入力値に対し、一次遅れを行います。 
その他	風向表示	入力値に対し、方位を表示します。 

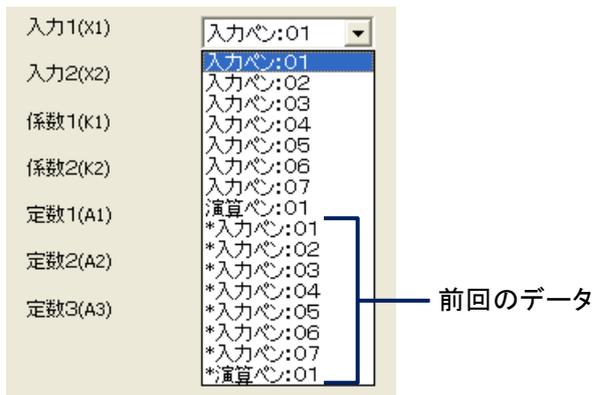
## 10.2.2. 入力 1(X1)、入力 2(X2)を設定する

演算を実行する測定値、演算結果を割り当てます。

演算種別に「開平」、「累乗」、「アナログ積算」、「ピークホールド(最大・最小)」、「否定」、「移動平均」、「一次遅れ」を選択した場合は、入力 1(X1)のみの設定となります。

<▼>ボタンをクリックすると、タグ名一覧が表示されます。一覧の中から演算に使用するデータのタグ名を選択してください。

前回のデータを演算に使用する場合は、「\* (アスタリスク)」の付いたタグ名を選択してください。



### 注意

#### X1、X2 を割り当てる上での注意事項

- ・X1、X2 に現在設定している演算ペン(例えば、演算 1 の設定で、入力 X1、X2 に演算 1)を割り当てると、演算結果は欠測となります。現在設定している演算ペンは、割り当てないでください。
- ・X1、X2 に現在設定している演算ペンの前回データ(例えば、演算 1 の設定で、入力 X1、X2 に演算 1 の前回データ)を割り当てる場合は、必ず初期値を設定してください。初期値を設定しないと、演算結果は欠測となります。

### MEMO

- タグ名一覧には、共通設定で有効になっているペンのタグ名のみが表示されます。

## 10.2.3. 係数 1(K1)、係数 2(K2)を設定する

演算に使用する係数を設定します。

演算種別に「論理積」、「論理和」、「否定」、「排他的論理和」を選択した場合は、係数の設定はありません。

設定範囲: 小数点、符号を含む 6 桁以内の数値(数字入力での注意事項→2.2 項参照)

## 10.2.4. 定数 1(A1)、定数 2(A2)、定数 3(A3)を設定する

演算に使用する定数を設定します。

演算種別に「加減算」、「乗算」、「除算」、「累乗」、「アナログ積算」を選択した場合に定数を設定します。

演算種別に「加減算」、「累乗」を指定した場合は、定数 1(A1)のみの設定となります。

演算種別に「アナログ積算」を指定した場合は、定数 3(A3)のみの設定となります。

設定範囲: 小数点、符号を含む 6 桁以内の数値(数字入力での注意事項→2.2 項参照)

演算種別がアナログ積算の場合に、A3にはドロップアウトの値を設定します。0~999999 の6文字(小数点含む)正の値を設定します。

### 10.2.5. 初期値を設定する

演算の初期値を設定します。演算パラメタで演算チャンネルの前回データを選択した場合に、この値を使用して演算を行います。初期値の設定ボタンをクリックすると、入力画面が表示されますので、数値を入力します。

デジタルの演算(論理積、論理和、否定、排他的論理和)の初期値を設定する場合は、オンの時は「1」、オフの時は「0」と設定してください。

初期値を設定しない場合は、空白(ブランク)に設定してください。

演算種別で「一次遅れ」、「移動平均」、「F 値演算」を選択した場合は、初期値の設定はありません。

設定範囲: 小数点、符号を含む 6 桁以内の数値(数字入力での注意事項→2.2 項参照)

#### 注意

##### 論理積、論理和、否定、排他的論理和の初期値を設定する際の注意事項

論理積、論理和、否定、排他的論理和の初期を設定する際は以下の点に注意してください。

- ・初期値に 0 または 1 以外の値を設定した場合、その設定は「0」として扱われます。
- ・演算種別が「排他的論理和」の場合、初期値を 0 または 1 以外に設定したパラメタを X1 または X2 に設定した場合、演算結果は「0」になります。

### 10.2.6. サンプル数を設定する

演算種別に「移動平均」を選択した場合は、サンプル数の設定を行います。

設定範囲: 2~16

### 10.2.7. 時定数を設定する

演算種別に「一次遅れ」を選択した場合は、時定数の設定を行います。

設定範囲: 0.00~100.00(小数点以下 2 桁まで設定可能、単位: 秒)

### 10.2.8. リセット条件を設定する(ピークホールド、アナログ積算)

演算種別に「ピークホールド(最大)」、「ピークホールド(最小)」、「アナログ積算」を設定した場合は、リセット条件を設定します。

リセット条件には、時間によるリセットとトリガ信号によるリセットがあります。

### ■時間によるリセット条件を設定する

指定した時間が経過するとリセットします。

[リセット条件]の左側のプルダウンメニューより、条件を選択してください。

時間によるリセットを行わない場合は、「条件無し」を選択してください。

条件無し	時間によるリセットは行いません。〈開始〉ボタンをタッチしたときのみリセットします。
30分	30分間の積算値を求めます。毎時0分と30分にリセットします。
1時間	1時間の積算値を求めます。毎正時にリセットします。
2時間	2時間の積算値を求めます。偶数時(0時、2時、4時、…)にリセットします。
3時間	3時間の積算値を求めます。3の倍数時(0時、3時、6時、…)にリセットします。
4時間	4時間の積算値を求めます。4の倍数時(0時、4時、8時、…)にリセットします。
6時間	6時間の積算値を求めます。0時、6時、12時、18時にリセットします。
12時間	12時間の積算値を求めます。0時、12時にリセットします。
24時間	1日の積算値を求めます。指定した時間にリセットします。

リセット条件に「24時間」を選択した場合は、1日のうちのどの時間にリセットするかを設定します。

設定範囲:0時~23時

### ■トリガ信号によるリセット条件を設定する

接点入力を利用して、演算結果をリセットします。

トリガによるリセット条件を設定する場合は、右側のプルダウンメニューより選択してください。

トリガによるリセットを行わない場合は、「条件無し」を選択してください。

条件無し	トリガによるリセットは行いません。〈開始〉ボタンをタッチしたときのみリセットします。
立上り	トリガ状態がオフ→オンになったときにリセットします。
立下り	トリガ状態がオン→オフになったときにリセットします。
オン時	トリガ状態がオンのときは、常にリセットします。
オフ時	トリガ状態がオフのときは、常にリセットします。

### 10.2.9. リセット条件を設定する(F 値演算)

演算種別に「F 値演算」を設定した場合は、リセット条件を設定します。  
リセット条件には、トリガ信号によるリセットとアナログ信号によるリセットがあります。

演算種別	F 値演算
リセット条件(トリガ)	条件無し
リセット条件(アナログ)	条件無し

#### ■トリガ信号によるリセット条件を設定する

デジタル入力機器からのトリガ信号を利用して、演算結果をリセットします。  
[リセット条件(トリガ)]より、任意の条件を選択してください。(リセット条件→10.2.8 項参照)

#### ■アナログ信号によるリセット条件を設定する

アナログ信号を利用して、演算結果をリセットします。  
アナログ信号でのリセットの場合は、[リセット条件(アナログ)]、[入力 2(X2)]、[条件値]、[不感帯]を設定します。

##### ・リセット条件(アナログ)

[リセット条件(アナログ)]より、任意の条件を選択してください。  
アナログ信号によるリセットを行わない場合は、「条件無し」に設定してください。

リセット条件(アナログ)	条件無し
--------------	------

測定値 < 条件値	測定値が設定した条件値を下回ったときにリセットします。
測定値 ≤ 条件値	測定値が設定した条件値以下になったときにリセットします。

リセット条件(アナログ)を選択すると、[入力 2(X2)]、[条件値]、[不感帯]が表示されます。

リセット条件(トリガ)	条件無し	入力 2(X2)	入力ペン:01
リセット条件(アナログ)	測定値 < 条件値	基準温度(T0)	121.1
条件値	0.0	Z値(Z)	10.0
不感帯		収録周期(ST)	500ミリ秒

##### ・入力 2(X2)

リセット条件とするアナログ信号を選択します。  
[入力 2(X2)]より、信号とするタグ名を選択してください。

##### ・条件値

演算値をリセットする条件値を設定します。  
設定範囲: 小数点、符号を含む 6 桁以内の数値(数字入力での注意事項→2.2 項参照)

##### ・不感帯

測定値が条件値付近をふらつくような場合に、リセットするまでの幅を設けて、演算実行と演算リセットの繰り返しを防止します。その条件値からリセットするまでの幅を不感帯で設定します。  
設定範囲: 小数点、符号を含む 6 桁以内の数値

### 10.2.10. 積算単位を設定する

演算種別に「アナログ積算」を設定した場合は、積算単位を設定します。  
[積算単位]より、任意の単位を選択してください。

無し	測定値または演算結果を単純に積算する場合に選択します。
秒	測定値または演算結果の工業単位の分母が「/s」の場合に選択します。
分	測定値または演算結果の工業単位の分母が「/min」の場合に選択します。
時	測定値または演算結果の工業単位の分母が「/h」の場合に選択します。
日	測定値または演算結果の工業単位の分母が「/day」の場合に選択します。

### 10.2.11. 基準温度(T0)を設定する

演算種別に「F 値演算」を設定した場合は、基準温度を設定します。  
設定範囲: 小数点、符号を含む 6 桁以内の数値(数字入力での注意事項→2.2 項参照)

### 10.2.12. Z 値(Z)を設定する

演算種別に「F 値演算」を設定した場合は、Z 値を設定します。  
設定範囲: 小数点、符号を含む 6 桁以内の数値(数字入力での注意事項→2.2 項参照)

### 10.2.13. 収録周期(ST)を設定する

演算種別に「F 値演算」を設定した場合は、収録設定で設定した収録周期が表示されます。これは、表示のみで変更できません。  
収録周期を変更する場合は、収録設定で行ってください。(収録設定→5.1 項参照)

### 10.2.14. プロット範囲、バイアス、プロット方法、OV グラフ表示色を設定する

プロット範囲→9.2.4 項参照  
バイアス→9.2.5 項参照  
プロット方法→9.2.6 項参照(演算ペン設定では、「対数 2」は選択できません。)  
OV グラフ表示色→9.2.8 項参照

### 10.2.15. オフ時表示名とオン時表示名を設定する

演算種別に「論理積」、「論理和」、「否定」、「排他的論理和」を選択した場合は、オフ時表示名とオン時表示名を設定します。  
設定範囲: 半角・全角 5 文字以内(数字入力での注意事項→2.2 項参照)

### 10.2.16. 風向表示の言語を設定する

演算種別に「風向表示」を選択した場合は、方位を表示する言語を「英語」/「日本語」から選択できます。

## 11. アラーム設定(個別)

[設定操作ボタン群]から<アラーム設定(個別)>ボタンをクリックすると、アラーム設定画面が表示されます。(ボタン操作→2.1 項参照)

[アラーム設定画面は、アナログの場合と、デジタルの場合で異なります。]

### 11.1. アナログアラームを設定する



#### 11.1.1. リミット値を設定する

入力信号が変化したときに、警報を出力する値を設定します。リミット値は、実量値で入力してください。

リミット値     %

#### 11.1.2. 正常域を設定する

正常域に設定するエリアにチェックを入れてください。

正常域 0%      100%

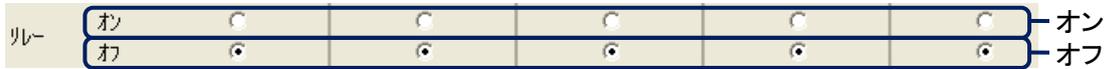
#### 11.1.3. 不感帯を設定する

アラームが発生してから復帰を検知する範囲を設定します。不感帯は、実量値で入力してください。

不感帯     %

### 11.1.4. リレーを設定する

各エリアに入力値が入ったとき、警報出力端子に「オン」を出力するか、「オフ」を出力するかを設定します。オンに設定する場合は、上側にチェックを入れてください。オフに設定する場合は、下側にチェックを入れてください。



### 11.1.5. アラーム出力を設定する

警報出力端子へのアラーム出力をするかしないかの設定を行います。

アラームを出力する場合は、チェックを入れてください。

異常時出力が「有効」に設定されている場合や、他のチャンネルでアラーム出力が設定されている場合は、アラーム出力ができません。

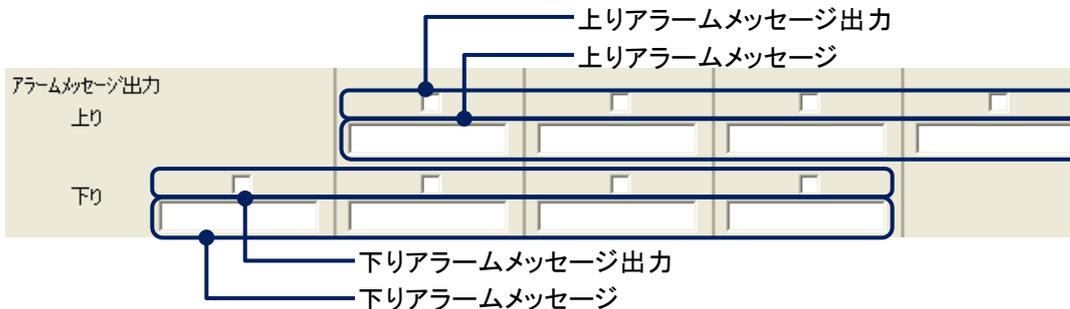


### 11.1.6. アラームメッセージ出力を設定する

アラームメッセージを出力するか出力しないかの設定と、アラームメッセージを設定します。

アラームメッセージを出力する場合は、チェックを入れてください。

設定範囲: 半角・全角 10 文字以内



### 11.1.7. 領域色を設定する

入力信号が各エリアに入ったときに、トレンド画面、オーバービュー画面、バーグラフ画面に表示する色を設定します。〈色編集〉ボタンをクリックすると、色の設定画面が表示されます。色選択ボックスより任意の色をクリック選択し、〈OK〉ボタンをクリックすると領域色が変更されます。(色設定画面の操作→2.3 項参照)



#### 注意

SRV20-□の表示色は 256 色です。選択した色によっては、SRV20-□で正しく表示されない場合があります。

## 11.2. デジタルアラームを設定する



### 11.2.1. 出力を設定する

警報出力端子へのアラーム出力をするかしないかの設定を行います。

アラームを出力する場合は、チェックを入れてください。

異常時出力が有効に設定されている場合や、他のチャンネルでアラーム出力が設定されている場合は、アラーム出力ができません。



### 11.2.2. 遅延時間を設定する

接点入力オンまたはオフに変化してから、その状態が設定した時間(遅延時間)継続した場合にアラームが発生します。その警報を出力する時間を設定します。単位は(秒)です。

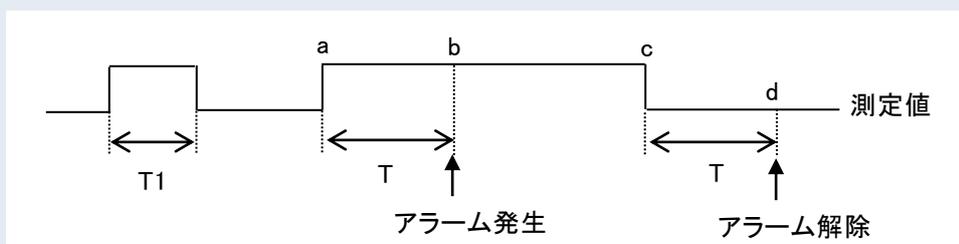
設定範囲:0~99



#### 注意

接点入力の状態が遅延時間よりも短いとアラームが発生しません。

【例】オン時アラームの場合



- ・T1 は設定した遅延時間より短いためアラームは発生しません。
- ・a の地点で接点入力はオンになっているが、遅延時間 T を経過した b の地点でアラームが発生します。
- ・c の地点で接点入力はオフになっているが、遅延時間 T を経過した d の地点でアラームが解除されます。

### 11.2.3. 表示色を設定する

接点入力がオンの時とオフの時の表示色をそれぞれ設定します。

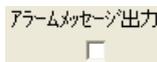
<色編集>ボタンをクリックすると、色の設定画面が表示されます。色選択ボックスより任意の色をクリック選択し、<OK>ボタンをクリックすると表示色を変更されます。(色設定画面の操作→2.3 項参照)



### 11.2.4. アラームメッセージ出力を設定する

アラームメッセージを出力するか出力しないかの設定を行います。

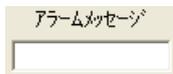
アラームを出力する場合は、チェックを入れてください。



### 11.2.5. アラームメッセージを設定する

発生したアラームに対して、メッセージを設定します。

設定範囲: 半角・全角 10 文字以内



### 11.2.6. 正常状態を設定する

接点入力の状態で、どの状態を正常とするかを設定します。

[正常状態]より、任意の状態を選択してください。

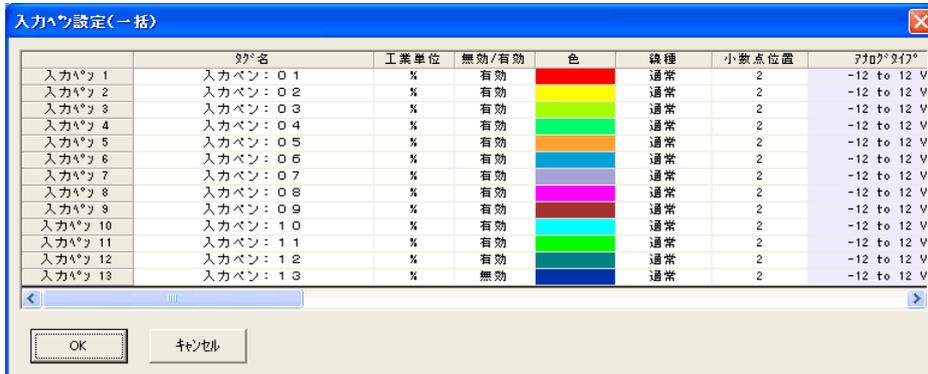


オン/オフ	接点入力の状態がオン、オフ両方の状態を正常状態とします。
オン	接点入力の状態がオンのときを正常状態とします。
オフ	接点入力の状態がオフのときを正常状態とします。

## 12. 入力ペン設定(一括)

入力ペンの設定を一括で行うことができます。

[設定操作ボタン群]から<入力ペン設定(一括)>ボタンをクリックすると、下図画面が表示されます。



- ①設定する項目のセルをクリックします。  
セルの色が  の部分は、設定変更できません。



- ②文字の入力を行います。  
セルを選択したときに、<▼>ボタンの表示された設定項目については、<▼>ボタンをクリックし、一覧から選択してください。



- ③Enter キーを押すか、次に設定するセルを選択すると、入力した内容が確定されます。

### MEMO

#### 設定内容のコピー、貼り付け

一括設定画面で設定したペンの内容をコピーし、別のペンに貼り付けを行うことが可能です。その手順について説明します。

- ①一番左端のペン番号をクリックし、「入力ペン 1」の設定内容を選択します。



- ②右クリックすると、「コピー」と表示されますので、「コピー」をクリック選択してください。



- ③設定内容を貼り付けるペンのペン番号をクリック選択します。

- ④右クリックすると「コピー」と「貼り付け」が表示されますので、「貼り付け」をクリック選択してください。



これで、設定内容のコピー、貼り付けが行えます。

演算ペン設定(一括)、アラームペン設定(一括)でも、この機能は使用できます。

## 13. 演算ペン設定(一括)

演算ペンの設定を一括で行うことができます。

[設定操作ボタン群]から<演算ペン設定(一括)>ボタンをクリックすると、下図画面が表示されます。



- ① 設定する項目のセルをクリックします。  
セルの色が  の部分は、設定変更できません。

ペン名	
演算ペン 1	演算ペン: 01
演算ペン 2	演算ペン: 02

- ② 文字の入力を行います。  
セルを選択したときに、<▼>ボタンの表示された設定項目については、<▼>ボタンをクリックし、一覧から選択してください。



- ③ Enter キーを押すか、次に設定するセルを選択すると、入力した内容が確定されます。

### MEMO

#### 設定内容のコピー、貼り付け

一括設定画面で設定したペンの内容をコピーし、別のペンに貼り付けを行うことが可能です。(→12 項参照)

## 14. アラーム設定(一括)

アラームペンの設定を一括で行うことができます。

[設定操作ボタン群]から<アラーム設定(一括)>ボタンをクリックすると、下図画面が表示されます。

	アラーム名	リミット値1	リミット値2	リミット値3	リミット値4	正常域	不感帯1
入力ペン 1	入力ペン: 0.1					2	
入力ペン 2	入力ペン: 0.2					2	
入力ペン 3	入力ペン: 0.3					2	
入力ペン 4	入力ペン: 0.4					2	
入力ペン 5	入力ペン: 0.5					2	
入力ペン 6	入力ペン: 0.6					2	
入力ペン 7	入力ペン: 0.7					2	
入力ペン 8	入力ペン: 0.8					2	
入力ペン 9	入力ペン: 0.9					2	
入力ペン 10	入力ペン: 1.0					2	
入力ペン 11	入力ペン: 1.1					2	
入力ペン 12	入力ペン: 1.2					2	
入力ペン 13	入力ペン: 1.3					2	
演算ペン 1	演算ペン: 0.1					2	
演算ペン 2	演算ペン: 0.2					2	
演算ペン 3	演算ペン: 0.3					2	
演算ペン 4	演算ペン: 0.4					2	
演算ペン 5	演算ペン: 0.5					2	
演算ペン 6	演算ペン: 0.6					2	
演算ペン 7	演算ペン: 0.7					2	
演算ペン 8	演算ペン: 0.8					2	
演算ペン 9	演算ペン: 0.9					2	
演算ペン 10	演算ペン: 1.0					2	
演算ペン 11	演算ペン: 1.1					2	
演算ペン 12	演算ペン: 1.2					2	

- ①設定する項目のセルをクリックします。  
セルの色が  の部分は、設定変更できません。



- ②文字の入力を行います。  
セルを選択したときに、<▼>ボタンの表示された設定項目については、<▼>ボタンをクリックし、一覧から選択してください。



- ③Enter キーを押すか、次に設定するセルを選択すると、入力した内容が確定されます。

### MEMO

#### 設定内容のコピー、貼り付け

一括設定画面で設定したペンの内容をコピーし、別のペンに貼り付けを行うことが可能です。(→12 項参照)

## 15. 表示ペン選択

トレンド画面、バーグラフ画面に表示するペンを選択します。設定できるペンの数は、画面表示点数の設定に依存します。(例えば、画面表示点数を「6」に設定した場合、表示ペン選択の各グループは 6 点の表示ペンが設定できます。)

[設定操作ボタン群]から<表示ペン選択>ボタンをクリックすると、下図画面が表示されます。



<▼>ボタンをクリックすると、有効に設定されているペンのタグ名一覧が表示されます。一覧から表示するペンを選択してください。



## 16. ハードウェアコンフィギュレーション

AD 変換タイプとラインノイズフィルタの設定を行います。  
収録周期を 100 ミリ秒に設定した場合は、設定する必要はありません。

### 16.1. AD 変換タイプ

AD 変換タイプを設定します。  
[AD 変換タイプ]より、任意の AD 変換タイプを選択してください。



高速	AD 変換速度を高速に設定します。
中速	AD 変換速度を中速に設定します。
低速	AD 変換速度を低速に設定します。

### 16.2. ラインノイズフィルタ

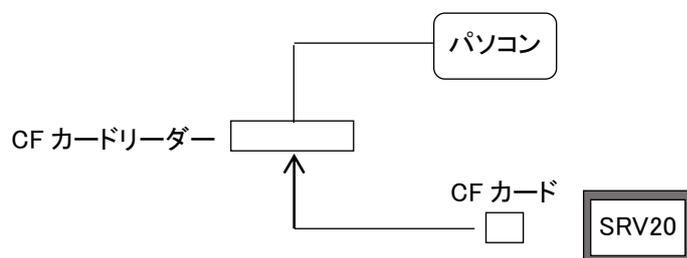
ラインノイズフィルタの設定を行います。  
[ラインノイズフィルタ]より、任意のラインノイズフィルタを選択してください。



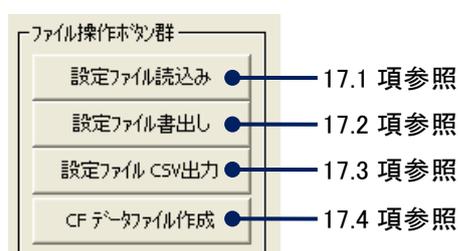
50/60Hz 兼用	電源周波数 50Hz/60Hz 兼用のノーマルモードノイズ除去比が設定されます。
50Hz	電源周波数 50Hz に対するノーマルモードノイズ除去比が設定されます。
60Hz	電源周波数 60Hz に対するノーマルモードノイズ除去比が設定されます。

## 17. ファイル操作

パソコンのハードディスクや CF カード内に存在するファイルとのやりとりを行います。  
CF カードを使用する場合は、CF カードが使用できるカードリーダーが必要になります。



ファイルに関する操作は、[ファイル操作ボタン群]にて行います。



### 17.1. ファイルの読み込み

〈設定ファイル読み込み〉ボタンをクリックすると、SRV20-□の設定ファイルを読み込み、画面に表示します。  
読み込んだ設定ファイルは、CSV ファイルとして出力することが可能です。  
また、保存しておいた設定ファイルを読み込み、SRV20-□に設定することが可能です。

### 17.2. ファイルの書出し

〈設定ファイル書出し〉ボタンをクリックすると、SRV20BLD で設定した内容をファイル名をつけて保存します。  
また、SRV20-□の設定状態を〈読み込み〉ボタンにて読み出し、保存することも可能です。(→18.1 項参照)

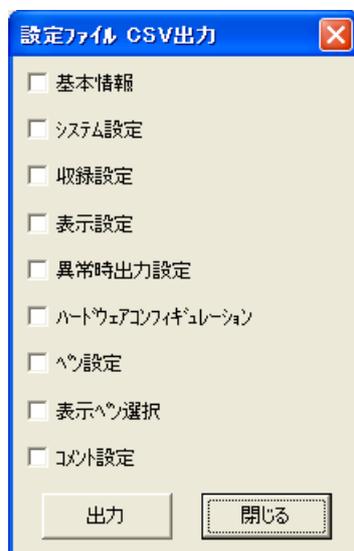
#### 注意

SRV20BLD で設定したパラメタファイルを SRV20-□で使用する際は、必ずファイル名を「SRV20.SRP20」にして使用してください。

### 17.3. 設定ファイル CSV 出力

SRV20BLD で設定した内容を CSV ファイルで保存します。現在 SRV20-□ に設定されている内容をアップロードし、その内容を CSV ファイルとして保存することも可能です。

〈設定ファイル CSV 出力〉ボタンをクリックすると、下図画面が表示されます。



CSV ファイルとして出力したい設定項目にチェックを入れ、〈出力〉ボタンをクリックしてください。

「名前を付けて保存」画面が表示されますので、名前を入力して〈保存〉ボタンをクリックしてください。

選択項目	CSV ファイルに出力される設定項目
基本情報	入力チャンネル数
システム設定	動作モード、温度単位、スタートモード、データ形式、データファイル上書、スクリーンセーバー、IP アドレス、タッチパネルビープ音
収録設定	収録周期、収録方法
表示設定	チャートスピード、グラフ表示方向、デジタル値表示タイプ、デジタル表示、データファイル使用容量、画面表示点数・(OV)、1 ペン表示の自動切替、グラデーションタイプ
異常時出力	有効／無効、異常時出力信号
ハードウェア コンフィギュレーション	AD 変換タイプ、ラインノイズフィルタ
ペン設定	入力ペン設定、アラームペン設定、演算ペン設定
表示ペン選択	表示ペン選択
コメント設定	ダイレクトモード、グループ名、グループ色、コメント、自動書き込み

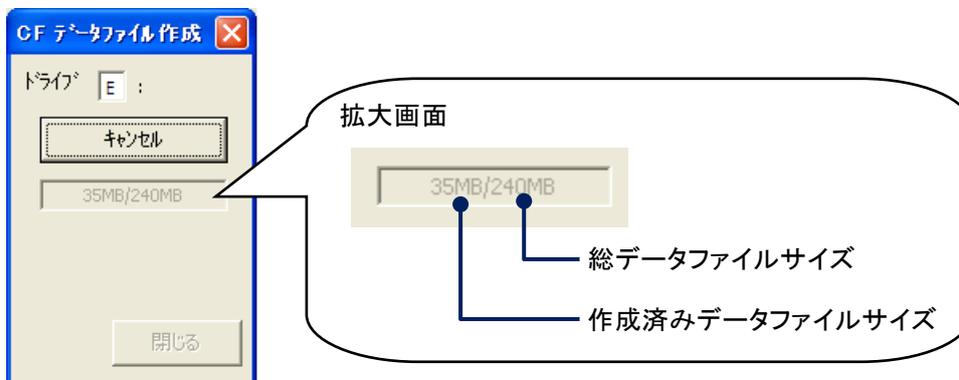
## 17.4. CF データファイル作成

CF カード内にデータファイル(ファイル名: SRV20.SRD20)、アラーム履歴ファイル(ファイル名: SRV20.SRA20)、コントロールファイル(ファイル名: SRV20.SRC20)を作成します。通常は、SRV20-□を起動させたときに自動的に生成されますが、SRV20BLD であらかじめ作成することもできます。  
また、活線挿抜によるCFカードの交換を行う場合は、必ず交換用CFカード内にファイルを作成しておいてください。CFカードにデータファイルを作成するためには、CFカードリーダーを使用します。

①[ファイル操作ボタン群]の<CF データファイル作成>ボタンをクリックすると、下図画面が表示されます。



②CFカードが挿入されているドライブ名(例えば、Eドライブの場合は「E」)を入力し、<作成>ボタンをクリックします。CFカードへのファイルの作成が開始します。ファイルの作成状況がウインドウに表示されます。ファイル作成を中断する場合は、<キャンセル>ボタンをクリックしてください。



③ファイルの作成が終了すると、「データファイル作成成功!」と表示されます。



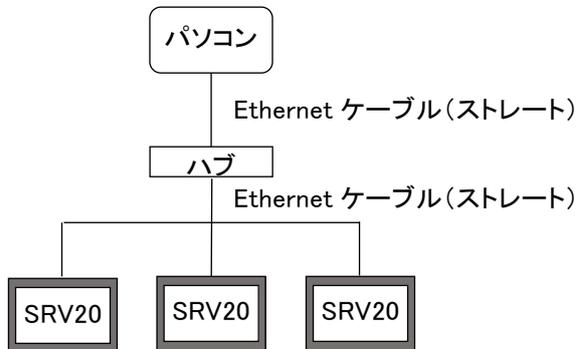
### 注意

CF データファイル作成で作成したファイルを SRV20-□で使用する場合は、SRV20-□の電源が投入されていない状態でCFカードを挿入してください。

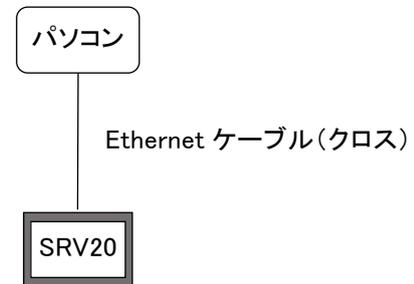
## 18. オンライン操作

パソコンと SRV20-□ を Ethernet で接続し、ファイルのやりとりや操作を行います。

下図左または下図右のように、SRV20-□ とパソコンを Ethernet で接続します。システム設定の IP アドレスに SRV20-□ で設定した IP アドレスを入力してください。

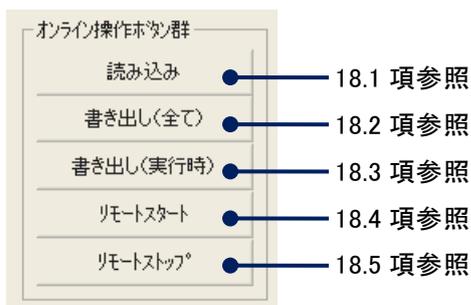


ハブを使用する場合



ハブを使用しない場合

オンラインに関する操作は、[オンライン操作ボタン群]にて行います。

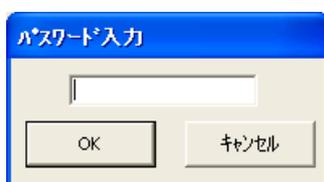


### 18.1. 読み込み

SRV20-□ に設定されている内容を読み出します。

共通設定の IP アドレスの欄に SRV20-□ 本体の IP アドレスを入力して、〈読み込み〉ボタンをクリックしてください。読み込みに成功すると、画面に「読み込み成功！」と表示されます。

SRV20-□ にパスワードが設定されている場合は、〈読み込み〉ボタンをクリックした後、パスワード入力画面が表示されます。SRV20-□ に設定したパスワードを入力してください。



## 18.2. 書き出し(全て)

SRV20BLD で設定した全ての内容を SRV20-□に書き出します。

〈書き出し(全て)〉ボタンをクリックしてください。

書き出しに成功すると、画面に「書き出し成功！」と表示されます。

SRV20-□にパスワードが設定されている場合は、〈書き出し(全て)〉ボタンをクリックした後、パスワード入力画面が表示されます。SRV20-□に設定したパスワードを入力してください。

SRV20-□がデータ収録中の時は、このボタンによる書き出しはできません。

書き出しする設定で、収録周期、データファイル形式、有効に設定しているペンの数に変更があった場合、その内容を書き出すと、データファイル、アラーム履歴ファイル、コメント履歴ファイルがリセットされます。

## 18.3. 書き出し(実行時)

SRV20BLD の設定のうち、SRV20-□がデータ収録中に変更できる設定項目のみ書き出しが行えます。

〈書き出し(実行時)〉ボタンをクリックしてください。

書き出しに成功すると、画面に「書き出し成功！」と表示されます。

SRV20-□にパスワードが設定されている場合は、〈書き出し(実行時)〉ボタンをクリックした後、パスワード入力画面が表示されます。SRV20-□に設定したパスワードを入力してください。

変更できる設定項目は、下記の通りです。

### ■システム設定

- ・スクリーンセーバー
- ・タッチパネルビープ音

### ■表示設定

- ・グラフ表示方向
- ・デジタル値表示タイプ
- ・デジタル表示
- ・データファイル使用容量
- ・画面表示点数
- ・画面表示点数(OV)
- ・1ペン表示の自動切替
- ・グラデーションタイプ

### ■入力ペン設定

- ・表示色
- ・線種
- ・小数点位置
- ・OV表示色
- ・プロット範囲
- ・バイアス
- ・対数プロット範囲

### ■演算ペン設定

- ・線種
- ・小数点位置
- ・プロット範囲
- ・OV表示色
- ・対数プロット範囲

### ■アラームペン設定

すべての設定項目

### ■表示ペン設定

表示ペン設定に設定されている内容

### ■コメント設定

すべての設定項目

## 18.4. リモートスタート

Ethernet を経由して、SRV20-□のデータ収録の開始を操作できます。

〈リモートスタート〉ボタンをクリックしてください。

リモートスタートに成功すると、「リモートスタート成功！」と表示されます。

SRV20-□にパスワードが設定されている場合は、〈リモートスタート〉ボタンをクリックした後、パスワード入力画面が表示されます。SRV20-□に設定したパスワードを入力してください。

## 18.5. リモートストップ

Ethernet を経由して、SRV20-□のデータ収録の停止を操作できます。

〈リモートストップ〉ボタンをクリックしてください。

リモートストップに成功すると、「リモートストップ成功！」と表示されます。

SRV20-□にパスワードが設定されている場合は、〈リモートストップ〉ボタンをクリックした後、パスワード入力画面が表示されます。SRV20-□に設定したパスワードを入力してください。

## 19. 付録

### 19.1. CSV ファイル変換後の設定ファイルの構成

設定情報の CSV ファイル構成について説明します。

#### ■ 基本情報

	A	B
1	設定ファイル情報 Version 3	
2	★基本情報★	
3	入力チャンネル数	6 ch

- A 列: 設定項目  
基本情報の項目を示しています。
- B 列: 設定内容  
基本情報の内容を示しています。

#### ■ システム設定

	A	B
4	★システム設定情報★	
5	動作モード	デモ
6	温度単位	摂氏
7	スタートモード	通常
8	データ形式	4 バイト 実数
9	データファイル上書	オン
10	スクリーンセーバー	0分
11	IPアドレス	192.168.0.1
12	サブネットマスク	255.255.255.0
13	デフォルトゲートウェイ	
14	タッチパネルビープ音	オン

- A 列: 設定項目  
システム設定の設定項目を示しています。
- B 列: 設定内容  
システム設定の設定内容を示しています。

#### ■ 収録設定

	A	B
15	★収録設定情報★	
16	収録周期	500ミリ秒
17	収録方法	表示のみ

- A 列: 設定項目  
収録設定の設定項目を示しています。
- B 列: 設定内容  
収録設定の設定内容を示しています。

#### ■ 表示設定

	A	B
18	★表示設定情報★	
19	チャートスピード	[4]
20	グラフ表示方向	縦書き
21	デジタル値表示タイプ	タグ名+値
22	デジタル表示	自動的に隠す
23	データファイル使用容量	非表示
24	画面表示点数	4 点
25	画面表示点数 (OV)	2 点
26	1ペン表示の自動切替	無効
27	グラデーションタイプ	タイプ1

- A 列: 設定項目  
表示設定の設定項目を示しています。
- B 列: 設定内容  
表示設定の設定内容を示しています。

#### ■ 異常時出力

	A	B
28	★異常時出力設定情報★	
29	有効/無効	無効

- A 列: 設定項目  
異常時出力の設定項目を示しています。
- B 列: 設定内容  
異常時出力設定の設定内容を示しています。

#### ■ ハードウェアコンフィギュレーション

	A	B
30	★ハードウェアコンフィギュレーション情報★	
31	AD変換タイプ	中速
32	ラインノイズフィルタ	50/60Hz兼用

- A 列: 設定項目  
ハードウェアコンフィギュレーションの設定項目を示しています。
- B 列: 設定内容  
ハードウェアコンフィギュレーションの設定内容を示しています。

## ■ ペン設定

	A	B	C
33	★ペン設定情報★		
34	■入力 1■		
35	タグ名	入力ペン:01	
36	工業単位	%	
37	表示色	RGB(255.0.0)	
38	線種	通常	
39	小数点位置		2
40	アナログタイプ	-12 to 12 V	
41	入力レンジ		0 12
42	スケール		0 12
43	プロット範囲		0 100
44	バイアス		0
45	通常/対数	通常	
46	開平	通常	
47	OVグラフ表示色	RGB(0.255.0)	
48	冷接点補償SW	オン	
49	バーンアウトタイプ	無効	
50	リミット値		
51	正常域		2
52	不感帯		
53	リレー出力無し		
54	上り1→2メッセージ	無効	
55	上り2→3メッセージ	無効	
56	上り3→4メッセージ	無効	
57	上り4→5メッセージ	無効	
58	下り1←2メッセージ	無効	
59	下り2←3メッセージ	無効	
60	下り3←4メッセージ	無効	
61	下り4←5メッセージ	無効	
62	エリア色1	RGB(255.255.255)	
63	エリア色2	RGB(255.255.255)	
64	エリア色3	RGB(255.255.255)	
65	エリア色4	RGB(255.255.255)	
66	エリア色5	RGB(255.255.255)	

A 列: 設定項目

ペン設定の設定項目を示しています。

B 列: 設定内容

ペン設定の設定内容を示しています。

上限、下限設定のある設定項目に関しては上限値の設定内容が表示されています。

C 列: 上限、下限設定のある設定項目の下限値の設定内容が表示されています。

## ■ 表示ペン選択

	A
252	★表示ペン選択情報★
253	グループ 1
254	01:[001]入力ペン:01
255	02:[002]入力ペン:02
256	03:[003]入力ペン:03
257	04:[004]入力ペン:04
258	グループ 2
259	01:無し
260	02:無し
261	03:無し
262	04:無し
263	グループ 3
264	01:無し
265	02:無し
266	03:無し
267	04:無し
268	グループ 4
269	01:無し
270	02:無し
271	03:無し
272	04:無し

A 列: 設定内容

表示ペン選択の設定内容を示しています。

## ■コメント設定

	A	B
273	★コメント設定情報★	
274	ダイレクトモード	有効
275	グループ 1	
276	グループ名	Gr1
277	グループ色	RGB(255,255,0)
278	コメント 1	スタート
279	自動書き込み	有効
280	信号	アナログ
281	条件	100
282	比較	測定値 > 条件値
283	対象ペン番号	入力ペン:01
284	コメント 2	
285	自動書き込み	無効
286	コメント 3	
287	自動書き込み	無効
288	コメント 4	
289	自動書き込み	無効
290	コメント 5	
291	自動書き込み	無効
292	コメント 6	
293	自動書き込み	無効
294	コメント 7	
295	自動書き込み	無効
296	コメント 8	
297	自動書き込み	無効

A 列:設定項目

コメント設定の設定項目を示しています。

B 列:設定内容

コメント設定の設定内容を示しています。

## 索引

## 1

1 ペン拡大表示 ..... 23

## A

AD 変換タイプ ..... 51

## C

CF データファイル作成 ..... 54

## I

IP アドレス ..... 15

## O

OV グラフ表示色 ..... 33

## Z

Z 値 ..... 42

## あ

アナログタイプ ..... 31

アラーム出力 ..... 44, 45

アラーム設定(一括) ..... 49

アラームメッセージ ..... 46

アラームメッセージ出力 ..... 44, 46

## い

異常時出力 ..... 24

色設定画面の操作 ..... 11

## え

演算種別 ..... 36

演算の種類 ..... 36

演算ペン設定(一括) ..... 48

## お

オフ時表示色 ..... 46

オフ時表示名 ..... 34, 42

オン時表示色 ..... 46

オン時表示名 ..... 34, 42

温度単位 ..... 13

## か

開平 ..... 33

書き出し(実行時) ..... 56

書き出し(全て) ..... 56

加算パルス ..... 38

画面表示点数 ..... 22

画面表示点数(OV) ..... 23

## き

基準温度 ..... 42

## く

グラデーションタイプ ..... 23

グラフ表示方向 ..... 21

グループ色 ..... 25

グループ名 ..... 25

## け

係数 ..... 38

## こ

工業単位 ..... 29

コメント ..... 26

## さ

サブネットマスク ..... 15

サンプリング数 ..... 39

## し

時間指定収録 ..... 19

指数桁 ..... 33

時定数 ..... 39

自動書き込み ..... 26

収録周期 ..... 16

収録方法 ..... 16

小数点位置 ..... 30

初期値 ..... 39

## す

スクリーンセーバー ..... 14

スケール ..... 32

スタートモード ..... 14

## せ

正常域 ..... 43

正常状態 ..... 46

積算単位 ..... 42

設定ファイル CSV 出力 ..... 53

設定ファイル書出し ..... 52

設定ファイル読み込み ..... 52

線種 ..... 30

## た

対数プロット範囲 ..... 33  
 ダイレクトモード ..... 25  
 タグ名 ..... 29  
 タッチパネルビーブ音 ..... 15

## ち

遅延時間 ..... 45  
 チャートスピード ..... 21

## て

定数 ..... 38  
 データ形式 ..... 14  
 データファイル上書 ..... 14  
 データファイル使用容量 ..... 22  
 デジタル値表示タイプ ..... 22  
 デジタル値表示方法 ..... 22  
 デジタル値表示を自動的に隠す ..... 22  
 デジタル表示 ..... 22  
 デフォルトゲートウェイ ..... 15

## と

動作モード ..... 13  
 トリガ収録 ..... 18  
 トリガ連動 ..... 16

## に

入力 ..... 38  
 入力チャンネル数 ..... 12  
 入力注意事項 ..... 11  
 入力ペン設定(一括) ..... 47  
 入力レンジ ..... 32

## は

バイアス ..... 33

## ひ

表示色 ..... 29  
 表示のみ ..... 16  
 表示ペン選択 ..... 50

## ふ

不感帯 ..... 41, 43  
 プロット範囲 ..... 32  
 プロット方法 ..... 33

## へ

ペンの有効/無効 ..... 29

## ほ

ボタン操作 ..... 10

## よ

読み込み ..... 55

## ら

ラインノイズフィルタ ..... 51

## り

リセット条件 ..... 39, 41  
 リミット値 ..... 43  
 リモートスタート ..... 57  
 リモートストップ ..... 57  
 領域色 ..... 44  
 リレー ..... 44  
 リンガータイム ..... 13

## れ

冷接点補償 SW ..... 34  
 連続収録 ..... 16

---

取扱説明書の記載内容は、改良のためお断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

---

**株式会社 シマデン** 〒179-0081 東京都練馬区北町 2-30-10  
<https://www.shimaden.co.jp>

東京営業所	〒179-0081	東京都練馬区北町 2-30-10	TEL (03) 3931-3481	FAX (03) 3931-3480
名古屋営業所	〒465-0024	愛知県名古屋市名東区本郷 2-14	TEL (052) 776-8751	FAX (052) 776-8753
大阪営業所	〒564-0038	大阪府吹田市南清和園町 40-14	TEL (06) 6319-1012	FAX (06) 6319-0306
広島営業所	〒733-0812	広島県広島市西区己斐本町 3-17-15	TEL (082) 273-7771	FAX (082) 271-1310
埼玉工場	〒354-0041	埼玉県入間郡三芳町藤久保 573-1	TEL (049) 259-0521	FAX (049) 259-2745

---